

とする区間として、秋田道の北上(岩出(大分県)など、6区間の計約33%)。また夜間のトラックなどを対象に、7区間の計約1500キロを6月から

予定していたも実施するかどうかは決まらないうえ、6月下旬に滞り状況や地元自治体の意向を詳しく確認して判断

- 大分一大分米良
- ①【大分道】大分一日出JCT
- ④【西九州道(武雄佐世保道、佐世保道)】武雄JCT-佐世保中央
- ⑤【長崎バイパス】古賀市布一川平
- ⑥【南九州西回り道(八代日奈久道、鹿児島道)】八代JCT-日奈久、市来-鹿児島西
- ②【宮崎道】えびのJCT-宮崎
- ⑦【沖縄道】許田-那覇
- 中型車以上
- ①【九州道】鳥栖-鹿児島

# 性否定

## 「検事が脅し」

の議決(20)を再受けた再再聴取時のやりとりを朗読された、と批

証調調べで弁護側は、石川議員が録音していた再聴取時のやりとりを朗読された、と批

検事が「逮捕されている

る見通しだ

計画案は7日の国交省政務三役会議で了承された。9日の民主党国土交通部門会議で提示、正式決定する。

全車種の無料化実験が追加されるのは、秋田道や大分道の一部のほか、米子道の落合(岡山県)一米子(鳥取県)、宮崎道全線のえびの-宮崎(宮崎県)、今秋に開通予定の道東道占冠-夕張(北海道)、今夏に開通する予定の舞鶴若狹道小浜-小浜西(福井県)。

ドライブの利便性を考慮し、現在無料化実験を実施中か、無料の自動車専用道路に接続している区間を選んだ。自動料金収受システム(ETC)を利用するか現金払いかを問わず無料とする

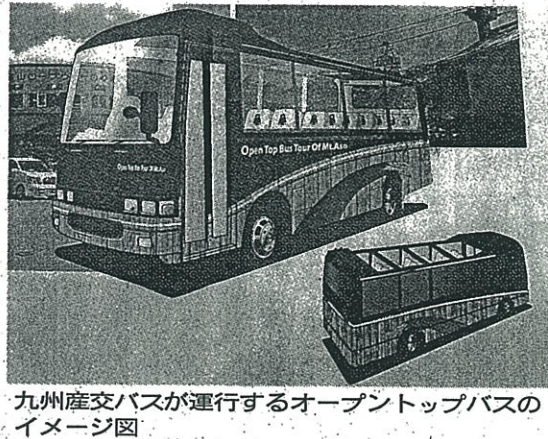
で、収支報告書に記入されなかった4億円について「自己資金に由来しており、事務所金庫に保管していた」と説明した供述調書を読み上げた。

のETC控車に限定す

無料時間帯は原則と量は無料化前の2倍に増して午後10時から翌日の午前6時までとする。一度に約10カ月分の実験で

熊本市の九州産交バス(森敏輔社長)は、九州新幹線鹿児島ルートが全線開業する3月12日から、阿蘇中岳火口と草千里を往復する屋根の無いオープントップ型の観光バスを運行する。オープントップの観光バスは東京や静岡で導入例があるが、小型マイクロバスは全国で初めてという。同社は「阿蘇を肌で感じられる開放感を味わってほしい」とPRしている。

2011九州新幹線



# オープントップバス 阿蘇を肌で感じて...

1千億円を計上、11年度効果や影響を見極めつは1200億円。大島章つ、無料化を段階的に進宏国土交通相は、実験のめる方針を示している。

定員は20人前後の予定。約600万円かけて中古バスを購入し、屋根を切り取り、車両の前後左右をガラス張りにするなどの改造をする。足元には暖房設備を備え、雨天時は屋根にカバーを掛ける。

草千里の駐車場を起点に、午前10時から午後5時まで1日13往復する。料金は大人2千円、子ども千円。1日130人の利用を見込んでいる。

同社は新幹線開業へ向け、県と意見

九州産交が導入へ 中岳-草千里往復

交換し、観光振興策の目玉としてオープントップバス導入が浮上したという。7日に同社が開いた記者会見には蒲島都夫知事も出席。知事は「ここでしかできない体験として話題になれば」と期待を示した。県はオープントップバスの売り込みに協力する方針。

同社はオープントップバスの愛称を募集する。18日必着でメール、ファクス、はがきで受け付ける。問い合わせは096(325)1140。

(上田良志)

# 県人口181万7410人

国勢調査速報値 05年比2万4823人減

続き、県人口の4割以上を占める熊本市は0.87%増の68万8106。減少率が最も大きかったのは球磨村の11.24%。次いで五木村の更新した。1世帯当たり

一方、県内の世帯数は前回比2万573(3.08%増の68万8106。

1945年調査から増え続けている、過去最多を更新した。1世帯当たり

新生面

建築物の間にとり狭しと囲りは高い壁が取り囲ん学者の御厨貴氏は、小沢と形容した▼師の田中角白御殿には、ニシキゴイがあった。首相指名の朝うに早起きして、背広にゴイに餌をやる写真が紙を覚えて▼師弟関係のだ。小沢氏は師の教え運動を「川上」から始め邸に配下の議員を集め、豊富な選挙資金を集めるだ。ただ、その金脈をめぐり起訴されるとは、夢にも氏は「庭」を造らなかつら身を守ろうとしたのかた師の弱点を克服するた要塞を造ったようにもいえば、小沢氏のスーツ身を固めた武将のようだつて、織田信長に自身をことある。世の中を愛を繰り返す武将。小沢氏を選挙だと心得、あらゆる「合法的」に駆使して治家だ▼政治資金規正法われた元秘書3人の公判3人は無罪を主張しているには、本丸での合戦が待ち参戦するのは、市民感覚外の新兵隊だ。小沢氏ののは、「改革者」として影、それともある種の諷刺

「ありがとー」

たから